



第56号

2020年1月15日発行
 日本獣医生命科学大学
 同窓会
 東京都武蔵野市
 境南町1-7-1
 発行者 中條 眞二郎
 直通電話・FAX
 0422-33-2916
 E-mail dosokai@nvlu.ac.jp
 URL http://nvlu-dosokai.
 academic-sol.com/

謹賀新年
 日本獣医生命科学大学同窓会会長
中條 眞二郎



年頭のご挨拶を申し上げます。
 平素、同窓会の運営につきまして、各位の
 並々ならぬご理解とご協力を賜り厚く御礼を
 申し上げます。

令和元年は、皇室の五つの即位の儀が執り
 行われ、十一月十日に「祝賀御列の儀」、そ
 の後十四日と十五日に大嘗祭と終えられ、新
 しい幕開けの即位の儀は、国民に明るい未来
 を期待させます。

令和のオリンピック
 半年後に迫ったこの夏のオリンピックは、
 1964年から半世紀ぶりの開催であります
 が、酷暑が懸念されてきました。特にマラソ
 ン・競歩等は、猛烈な熱さのアスファルト道
 路での競技となります。主催者である東京都
 は、専門家を交え熱中症対策を検討していま
 したが、突然IOCの偉い方が来日され「会

場を札幌に決めましたので札幌でやりな
 い」と寝耳に水の話が舞い込み、小池東京都
 知事は「合意無き決定」として受け入れざる
 を得ませんでした。

札幌会場決定は、より環境の整ったフィ
 ルドで行う選択ですから反対し難い面もあり
 ます。しかし、マラソンの盛んな日本の国民
 感情からすると、オリンピックの華と思っ
 ているヒトは多く、浅草雷門を折り返し、国立
 競技場でゴールのテープを切る場面を見た
 かったと思う人は多いのではないでしょう
 か。残念ではありますが札幌で良かったと思わせる
 素晴らしい大会になることを祈っております。

本館が国の登録有形文化財に登録
 初めて大学を訪問する人は、古風なバルコ
 ニーをくぐり表玄関の階段を上り本館に入
 ると、白壁で天井が高く時代を感じさせる建
 物だと思ふことでしょうか。この本館が国の有
 形文化財に登録されました。

国の文化財制度の種別は、6項からなり
 の中で、有形文化財の項には重要文化財の国
 宝と登録有形文化財があります。登録有形文
 化財建造物は、50年を経過した歴史的建造物
 のうち、一定の評価を得たものを文化財とし
 て登録されるものです。
 母校本館は、皆さん周知のことと思いま
 す。元々は麻布区役所庁舎で1909年竣工

百年を超える建物であります。1936年、
 武蔵境の現校地に日本高等獣医学学校の校舎と
 して移築され現在に至っています。1923
 年の関東大震災の難を免れ、第二次大戦中石
 川島軍需工場と間違われ米軍の機銃掃射を受
 け現在でも、赤いトンガリ帽の屋上に傷跡を
 残しています。獣医学科だけの単科の時代は、
 講堂と大講義室として使用されましたが、学
 科増設により学生数も多くなり、また木造の
 欠点である床の傷みにより多人数収容する用
 途には危険な建物となり、現在は、一階は守
 衛室と同窓会事務局、二階は博物館の役目を
 担っています。

本館は、時代時代の入学生を桜が咲くころ
 に迎え、梅の花が散るころ卒業生を送ってき
 ましたから、卒業生には忘れられない心に遺
 る校舎であります。
 大学の校地内に同窓会館を建設する敷地
 を確保することができず、その代案として本
 館内に事務所のスペースを法人から貸与し、
 同窓会事務局を移しましたが、本館が登録文
 化財となりましたので大事に扱わなければな
 らなくなりました。しかし、心配すべきこと
 が二つあります。耐震整備がなされていない、
 火災報知器・スプリンクラー等の防火施設
 が整備されていないことです。沖繩県で百里城
 が全焼しましたが、一瞬にして消失してしま
 う火災の恐ろしさがあります。

現在では冷暖房の完備が必需な時代です
 が、本館は天井が高く窓は気密性が悪く、熱
 効率の非常に悪い建造物で使い勝手の悪さか
 ら前世紀の遺物的な言われようで、度々建て
 替えた方がよいなどの声が聞かれました。今
 後、文化財となり母校の象徴的な建物として

存続することになりましたので、同窓会が当
 分の間居住できそうですから同窓生誰もが喜
 んでいることと思います。
ニチジュウふるさとFESTIVAL
 大学の学生部と学生支援課の企画で、第一
 回は一昨年6月に、九州・沖繩出身の学生と
 地域出身の教職員が参加し開催されました。
 第二回目は、昨年11月13日に同窓会も参加し、
 広域近畿地区出身学生と教職員を対象に開催
 されました。

この開催の目的は、学生と卒業生・教職員
 の繋がりがから生じる広報活動、地方の就職
 斡旋などです。
 以前は、伝統的に県人会として学生主導で
 上級生が新入生歓迎を兼ねて行われていま
 した。しかし、現在では学生の出身分布が首都
 圏内に集中し地方出身の学生が少なくなり県
 人会が途絶えてしまったことも一因かも知れ
 ません。本会の事業として医獣祭への参加支
 援が母校の企画した「ふるさとFESTIVAL」と
 協賛事業となるように図っていきたくと思
 います。同窓会参加の地道な活動として、学
 生時代から同窓会活動を理解して貰うことは
 会の発展に繋がる一里塚となることを期待し
 ています。

令和の幕開け早々様々なことがありま
 した。が、会員皆様と共に、同窓会・母校の発展に
 尽力したいと思ひます。
 なお今年には140周年記念事業・祝賀会
 の準備の年になりますが、何卒皆様のご支援と
 ご協力を賜りますようお願い致します。
 会員皆様の幸多い年となり、生涯の想いの
 一つに残る素晴らしい年になりますことをご
 祈念申し上げます。

2019年度日本獣医生命科学大学同窓会代議員会を開催

2019年度の代議員会が、2019年7月20日(土)午後1時より母校E棟111講義室にて開催された。

当日は代議員会に先立ち、午前10時より母校第一会議室において理事30名、監事2名が出席し理事・監事会が開催され、議案書を確認し、了承を得た。

代議員の出席者は、中條会長、副会長3名、理事30名、監事2名、代議員60名の計96名のもと吉田事務局長の司会により開会宣言がされた。

中條 眞二郎会長挨拶

本年度は、役員改正の年度にあたり、重要な予算関係と事業関連の承認事項も多く、ご審議お願いします。本代議員会の開催時期について、年度を考慮すると四月開催が望ましいのですが、会計処理と大学は四月に行事が一杯ですので現行をご理解願いたい。名簿発送の件は、個人情報保護の遵守を鑑み全会員でなく会費納入者に送付しました。但し、希望者は事務に問い合わせください。二〇二一年は、母校の一四〇周年を迎えます。多くの会員方々と関係者方々とお祝いを致したくご参加お待ちしております。学校法人日本医科大学

坂本篤祐理事長挨拶

法人の経営状況ですが、苦しい時期が続きましたが好転しているところです。皆様のご協力に感謝いたします。人数もさることながら、私学の女性が少なくなっている。教育だけでなく、大学が生き残るために事業外計画として獣医療で収入を

得て、獣医療のトップを目指してほしい。そして、素晴らしい学生を育ててほしい。

大学教員たちも一丸となって大学を盛り立て、中長期計画を進め140周年には大学を安定させることを目標としたい。ぜひともご支援、ご協力をお願い申し上げます。

日本獣医生命科学大学 阿久澤良造学長

学生数ですが3月に院生含め374名が卒業、4月には389名が入学し、現在の在籍者数は1794名です。

創立150周年に向けた中長期計画を2年前に作成、現在改革の力として進めています。本学は様々なものをつなぐ拠点として

Connect with the futureを柱として進める。今年度は中長期計画の1つとして危険な老朽

化施設をなくすために本館(1号棟)、第二校舎、2号棟、3号棟を建て替える計画を進めています。1号棟は麻布市役所として竣工

してから110周年、木造の築110年の建物は非常に希少なため武蔵野市と東京都とも

に有形文化財として申請中です。決定された際には記念イベントを計画しています。

教育研究、社会貢献においても質の向上を目指して様々な取り組みを行います。教育に

ついてはアクティブラーニングによる学生と相互後継式の講義や実習形態へと変化してい

ます。また学生サービスの向上などを目指しています。研究についてはone health for the

worldを理念とし、生命・食・環境をつなぐ

拠点の形成に向けて取り組み、1・2・3・8倍の研究費を得ることに成功いたしました。

動物医療センターは日本医科大学のご支援をいただきつつ、労働環境の改善、リニアックの行使、人工心肺装置の導入が実現いたしました。土曜診療が始まり、近々大動物診療科を始める予定です。

中長期計画は始まったばかりだが、負債が減少し、高速で回復しています。この変化に乗り遅れないように、成果を出し、前進を続けることが大事です。

議長選出

会則17条より出席している代議員から選出。代議員の中から立候補者を募ったが立候補者がいないため、午前中の理事監事会で推薦された候補者が中條会長から提示され、議長に左向敏紀代議員(大学支部)、副議長に

吉田真代議員(岐阜県支部)が拍手で承認された。続いて本日の書記に小田原寧々さん(看護学科4年)、議事録署名名人に片岡康代議員(大学支部)、生野沙織代議員(大学支部)が

提案され承認された。

第1号議案

2018年度事業報告(荻野総務理事)

2018年度は、新しい会則と規定による事業の遂行に努めました。会員皆様のご理解

とご協力により事業が滞りなく進められましたことに感謝申し上げます。

4年ごとの名簿発行は予定より発行が遅れましたが会員数の増加と正確な住所録の作成

を期するために時間を費やしてしまいました。また、個人情報流出を防止する改善策

を常務会で度々検討し会則に則って配布先を会費納入者となりました。

140周年記念式典・祝賀会の準備として記念誌編集作業の遂行、予算措置を取りまし

た。また、会報の発行とホームページによる同窓会と母校の情報提供に努めてまいりました。2018年7月21日(土)午後1時より母校E棟111講義室に於いて

出席者数・来賓2名、顧問1名、理事・監事32名、代議員63名、支部代表6名

2、常務理事会、理事・監事の会議等

(1)理事・監事会

(2)常務理事会

(3)業務・会計監査会

(4)同窓会会則改正委員会

(5)会報編集会議

(6)護国寺定例挨拶訪問

3、会報・同窓会名簿発行

(1)会報53号発行・10、698名へ送付

(2)会報54号発行・10、539名へ送付

(3)2018年度同窓会名簿発行

4、主な行事への参加

(1)母校入学式

(2)大学祭期間に同窓会ブース開設

(3)母校職員との懇親会

(4)母校学位授与式

(5)各業種のOB・OGの学生に対する説明会

(6)2018年度支部会、連合会への派遣

5、その他

(1)2018年度梅野信吉賞受賞者に副賞を贈呈

(2)2018年度定年退職者へ記念品贈呈

(3)日本獣医師会全国大会(神奈川県)への支援

(4)準会員への事業

同窓会会長賞

大学祭(医獣祭)への支援
就職活動への支援
入学祝品
卒業祝品



第2号議案
2018年度収支決算(寺田経理事)
2018年度一般会計収支計算書(別表参照)
2018年度特別会計収支計算書(別表参照)
正味財産増減計算書(別表参照)
貸借対照表総括表(別表参照)
財産目録(別表参照)

財務諸表に対する注記(別表参照)
会費納入状況 2019年3月31日現在(別表参照)
2018年度連携病院収支計算書(別表参照)
監査報告(別表参照)
石崎監事より監査報告があった。

第1号議案、第2号議案は拍手で承認される。
第3号議案
2019年度事業計画(荻野総務理事)
5月1日より新元号となり母校は、明治・大正・昭和・平成・令和の5元号に亘り、間もなく140周年を迎えます。この伝統ある母校140周年に向けて大学と連携をとって準備していきたいと思えます。
会則改正の趣旨を会員に周知して頂き、ホームページ等の活用も含めて会費納入会員を増やすように図りたいと思えます。
1、日本獣医生命科学大学同窓会代議員
2019年7月20日(土)午後1時より
母校E棟111講義室に於いて
2、2019年度理事・監事会
2019年7月20日(土)午前10時より
3、役員会及び各種委員会の開催
4、各種行事への参加
5、支部会強化活動
(1)支部総会への役員派遣
(2)その他
6、同窓会会報発行・会報55号、56号の発行
7、創立140周年記念誌編集作業
8、連携動物病院の広報及び申請受付
9、母校への支援
(1)梅野信吉賞受賞者への協賛
(2)創立140周年記念事業への寄付活動
10、準会員(学生)への事業

(1)入学記念品贈呈
(2)卒業記念品贈呈
(3)同窓会会長賞の表彰・記念品の贈呈
(4)大学祭(医獣祭)への支援
(5)就職活動への支援
(6)奨学生候補者の選考
11、2019年度退職者への記念品贈呈
12、母校主催、支部主催の学会・講演会などへの支援
13、その他

第4号議案
2019年度収支予算(寺田経理事)
2019年度一般会計収支計算書(別表参照)
2019年度特別会計収支計算書(別表参照)
2019年度連携病院収支計算書(別表参照)
第3号議案、第4号議案は拍手で承認された。
第5号議案
2019年度同窓会役員改選(中條会長)
1、第7章理事会の33条による新顧問の委嘱
杉山公宏元学長(獣医6期)、紺野耕元学長(獣医8期)を顧問としてお迎えしたい。
2、2019年度同窓会役員改選について
理事立候補者と監事立候補者を所属支部長から推薦する理事・監事を各ブロック定員数により届け出用紙に記載し会長へ提出され、議長により報告され拍手で承認された。
新任理事(敬称略)
北海道 清水茂延
東北 大橋秀一
関東 吉田勝也、大澤正俊、渋谷正志
石川允朗、篠崎隆、鎌田健好



| | |
|------|-----------------------------------|
| 中部 | 青木和男、前田敬生、岡田俊夫 |
| 近畿 | 清水弘司、立田寿 |
| 中国 | 高田三千人 |
| 四国 | 岩崎靖 |
| 九州 | 中村完治、福岡周孝 |
| 大学 | 中條眞二郎、寺田厚、吉田孝治、對馬宣道、左向敏樹、荻野勇、天野三幸 |
| 獣医 | 小山秀一、森田達史、片岡康 |
| 看護 | 湯本典夫、五十嵐綾乃、柚原亜紀 |
| 動物 | 小磯孝、藤原伸作、鈴木直幸 |
| 食品 | 山内直文、畠山仁、原宏佳 |
| 会長推薦 | 作佐部隆、小暮一雄、金原元伸 |
| 監事 | 石崎孝久、水谷渉、新井敏郎 |

第2号議案 2018年度収支決算

2018年度一般会計収支計算書

2018年4月1日から2019年3月31日まで

2018年度特別会計収支計算書

2018年4月1日～2019年3月31日

収入の部 (単位:円)

| 科目 | 予算額 | 決算額 | 差異 | 摘要 |
|-----------|------------|------------|-----------|------------------------|
| 1 同窓会費収入 | 6,450,000 | 4,668,000 | 1,782,000 | 本年度1,261口、2017年度295口 |
| 2 入会金収入 | 19,100,000 | 19,100,000 | 0 | 50,000円×382名 |
| 3 諸収入 | 113,400 | 116,646 | △ 3,246 | |
| 受取利息 | 3,400 | 5,546 | △ 2,146 | 普通預金利息99円、特別会計利息5,447円 |
| 寄付金 | 100,000 | 100,000 | 0 | 祝い金等 |
| 雑収入 | 10,000 | 11,100 | △ 1,100 | 会員より寄付など |
| 当期収入合計(A) | 25,663,400 | 23,884,646 | 1,778,754 | |
| 前期繰越金 | 2,199,426 | 2,199,426 | 0 | |
| 収入合計(B) | 27,862,826 | 26,084,072 | 1,778,754 | |

支出の部

| 科目 | 予算額 | 決算額 | 差異 | 摘要 |
|-----------------|-------------|------------|-------------|--------------------------------------|
| 1 事業費 | 13,250,000 | 7,478,279 | 5,771,721 | |
| 会報発行費 | 3,500,000 | 3,445,691 | 54,309 | 印刷会報53.54号273万円、発送67万円、34.35号増刷4.5万円 |
| 名簿発行費 | 0 | 580,813 | △580,813 | 名簿要不要確認はがき印刷、発送費 |
| 事業推進費 | 800,000 | 0 | 800,000 | |
| 支部助成費 | 800,000 | 618,200 | 181,800 | 支部1394口42.5万円、獣医師会神奈川・年次大会20万円 |
| 学生会員援助費 | 3,600,000 | 1,702,629 | 1,897,371 | 入学祝品90.5万円、会長賞10万円、医獣祭70万円 |
| 同窓会会則発行費 | 3,000,000 | 414,936 | 2,585,064 | 会則・規定印刷費 |
| 学術振興費 | 800,000 | 300,000 | 500,000 | 梅野信吉賞30万円 |
| 就職対策費 | 200,000 | 90,000 | 110,000 | OBOG訪問会謝礼金 |
| 渉外費 | 250,000 | 200,000 | 50,000 | 法人・母校との懇親と渉外 |
| 慶弔費 | 300,000 | 126,010 | 173,990 | 2018年教職員祝品3万円、弔事3件4.6万円、護国寺5万円 |
| 2 会議費 | 3,800,000 | 3,419,755 | 380,245 | |
| 代議員会議費 | 3,000,000 | 2,804,144 | 195,856 | 代議員76名分旅費等 |
| 役員会議費 | 800,000 | 615,611 | 184,389 | 役員旅費等 |
| 3 事務費 | 4,800,000 | 4,122,631 | 677,369 | |
| 事務手当 | 2,800,000 | 2,691,409 | 108,591 | 事務手当、アルバイト料、通勤費等 |
| 旅費 | 1,000,000 | 671,500 | 328,500 | 支部派遣 |
| 印刷費 | 200,000 | 161,112 | 38,888 | 封筒、コピー代等 |
| 通信費 | 250,000 | 129,857 | 120,143 | 郵便料、電話代等 |
| 振替・振込手数料 | 100,000 | 53,134 | 46,866 | 郵便振替、銀行振込 |
| 器具備品費 | 100,000 | 144,800 | △ 44,800 | 事務局パソコン一式 |
| ホームページ管理運営費 | 100,000 | 140,400 | △ 40,400 | ホームページ管理料等 |
| 消耗品費 | 150,000 | 105,485 | 44,515 | 事務用品類、PCソフト代等 |
| 雑費 | 100,000 | 24,934 | 75,066 | 残高証明、お茶等 |
| 4 特別会計繰入金 | 5,766,421 | 5,781,567 | △ 15,146 | |
| 名簿発行引当金 | 1,000,000 | 1,000,000 | 0 | |
| 記念事業特別積立引当金 | 1,002,842 | 1,002,842 | 0 | |
| 奨学基金引当金 | 11,044 | 11,044 | 0 | |
| 創立140周年記念積立引当金 | 3,000,000 | 3,000,000 | 0 | |
| 減価償却引当金 | 752,535 | 767,681 | △ 15,146 | |
| 5 予備費 | 246,405 | 0 | 246,405 | |
| 当期支出合計(C) | 27,862,826 | 20,802,232 | 7,060,594 | |
| 当期収支差額(A)-(C) | △ 2,199,426 | 3,082,414 | △ 5,281,840 | |
| 次期繰越収支差額(B)-(C) | 0 | 5,281,840 | △ 5,281,840 | |

(収入の部)

| 科目 | 予算額 | 決算額 | 差異 | 摘要 |
|-----------|------------|------------|---------|----------|
| 1. 繰入金収入 | 5,767,504 | 5,781,567 | △14,063 | |
| 2. 雑収入 | 4,003 | 5,447 | △1,444 | 利息は一般会計へ |
| 当期収入合計(A) | 5,771,507 | 5,787,014 | △15,507 | |
| 前期繰越額 | 64,487,102 | 64,487,102 | 0 | |
| 収入合計(B) | 70,258,609 | 70,274,116 | △15,507 | |

(積立金別の収入明細)

| 科目 | 名簿発行 | 記念事業特別積立 | 奨学基金 | 140周年記念基金 | 減価償却 |
|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 繰入金収入 | 1,000,000 | 1,002,842 | 11,044 | 3,000,000 | 767,681 |
| 2. 雑収入 | 349 | 4,765 | 333 | 0 | 0 |
| 当期収入合計(A) | 1,000,349 | 1,007,607 | 11,377 | 3,000,000 | 767,681 |
| 前期繰越額 | 7,510,000 | 43,447,158 | 7,138,956 | 0 | 6,390,988 |
| 収入合計(B) | 8,510,349 | 44,454,765 | 7,150,333 | 3,000,000 | 7,158,669 |

(支出の部)

| 科目 | 予算額 | 決算額 | 差異 | 摘要 |
|-----------------|------------|------------|----------|----|
| 1. 繰入金取崩 | 0 | 0 | 0 | |
| 2. その他支出 | 4,003 | 5,447 | △ 1,444 | |
| 当期支出合計(C) | 4,003 | 5,447 | △ 1,444 | |
| 当期収支差額(A)-(C) | 5,767,504 | 5,781,567 | △ 14,063 | |
| 次期繰越収支差額(B)-(C) | 70,254,606 | 70,268,669 | △ 14,063 | |

(積立金別の支出明細)

| 科目 | 名簿発行 | 記念事業特別積立 | 奨学基金 | 140周年記念基金 | 減価償却 |
|-----------------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 繰入金取崩 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2. その他支出 | 349 | 4,765 | 333 | 0 | 0 |
| 当期支出合計(C) | 349 | 4,765 | 333 | 0 | 0 |
| 当期収支差額(A)-(C) | 1,000,000 | 1,002,842 | 11,044 | 3,000,000 | 767,681 |
| 次期繰越収支差額(B)-(C) | 8,510,000 | 44,450,000 | 7,150,000 | 3,000,000 | 7,158,669 |

財産目録

2019年3月31日

(単位:円)

| 科目 | 金額 | |
|----------------------------|------------|------------|
| I. 資産の部 | | |
| 1. 流動資産 | | |
| (1) 現金 | 50,000 | |
| (2) 普通預金 | 12,758,469 | |
| ①三菱UFJ銀行(一般会計) | 1,237,425 | |
| ②三菱UFJ銀行(名簿発行積立金) | 8,510,000 | |
| ③三菱UFJ銀行(奨学基金積立金) | 11,044 | |
| ④三菱UFJ銀行(140周年記念積立金) | 3,000,000 | |
| (3) 定期預金 | 51,588,956 | |
| ①三菱UFJ銀行(記念事業特別積立金) | 44,450,000 | |
| ②三菱UFJ銀行(奨学基金積立金) | 7,138,956 | |
| (4) 郵便振替 | 7,975,055 | |
| (5) 未収金 | 0 | |
| 流動資産合計 | 72,372,480 | |
| 2. 固定資産 | | |
| (1) 土地建物 | 0 | |
| (2) その他の固定資産(什器備品及びパソコンなど) | 6,802,998 | |
| 固定資産合計 | 6,802,998 | |
| 資産合計 | | 79,175,478 |
| II. 負債の部 | | |
| 1. 流動負債 | | |
| (1) 未払金 | 0 | |
| (2) 前受金 | 0 | |
| 流動負債合計 | | 0 |
| 2. 固定負債 | | |
| (1) 名簿発行引当金 | 8,510,000 | |
| (2) 記念事業特別積立引当金 | 44,450,000 | |
| (3) 奨学基金引当金 | 7,150,000 | |
| (4) 140周年基金引当金 | 3,000,000 | |
| (5) 減価償却引当金 | 7,158,669 | |
| 固定負債合計 | | 70,268,669 |
| 負債合計 | | 70,268,669 |
| 正味財産 | | 8,906,809 |

第4号議案 2019年度収支予算
2019年度一般会計収支計算書

2019年4月1日から2020年3月31日まで
(単位:円)

収入の部

Table with 5 columns: 科目, 本年度予算額, 前年度予算額, 増減, 摘要. Rows include 1 同窓会費収入, 2 入会金収入, 3 諸収入, 当期収入合計(A), 前期繰越金, 収入合計(B).

支出の部

Table with 5 columns: 科目, 本年度予算額, 前年度予算額, 増減, 摘要. Rows include 1 事業費, 2 会議費, 3 事務費, 4 特別会計繰入金, 5 予備費, 当期支出合計(C), 当期収支差額(A)-(C), 次期繰越収支差額(B)-(C).

2019年度特別会計収支計算書

2019年4月1日~2020年3月31日
(単位:円)

(収入の部)

Table with 5 columns: 科目, 本年度予算額, 前年度予算額, 増減, 摘要. Rows include 1 繰入金収入, 2 雑収入, 当期収入合計(A), 前期繰越額, 収入合計(B).

(積立金別の収入明細)

Table with 6 columns: 科目, 名簿発行積立, 記念事業特別積立, 奨学基金, 140周年記念基金, 減価償却. Rows include 1 繰入金収入, 2 雑収入, 当期収入合計(A), 前期繰越額, 収入合計(B).

(支出の部)

Table with 5 columns: 科目, 本年度予算額, 前年度予算額, 増減, 摘要. Rows include 1 繰入金取崩, 2 その他支出, 当期支出合計(C), 当期収支差額(A)-(C), 次期繰越収支差額(B)-(C).

(積立金別の支出明細)

Table with 6 columns: 科目, 名簿発行積立, 記念事業特別積立, 奨学基金, 140周年記念基金, 減価償却. Rows include 1 繰入金取崩, 2 その他支出, 当期支出合計(C), 当期収支差額(A)-(C), 次期繰越収支差額(B)-(C).

2019年度連携病院収支計算書

(収入の部)

Table with 5 columns: 科目, 本年度予算額, 前年度予算額, 増減, 摘要. Rows include 前年度繰越金, 本年度納入金, 利息, 雑収入, 合計.

(支出の部)

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 増減, 摘要. Rows include 事務費, 事務手当, 通信費, 雑費, 事業費, 広報費, 予備費, 合計.

2018年度監査報告書

2018年度同窓会業務並びに会計の収支決算を
2019年5月11日母校において厳正に監査した結果
証拠書類等、正しく執行されていることを認めます。

2019年5月11日

監事 石崎 孝久 (印)
監事 水谷 涉 (印)
監事 栗本 卓夫 (印)

閉会
議長団が解散し、吉田事務局長の閉会宣言により閉会した。

2018年度連携病院収支計算書

2018年4月1日～2019年3月31日

(単位：円)

| (収入の部) | | | |
|--------|-------|-------|----|
| 科目 | 予算額 | 決算額 | 差異 |
| 本年度納入金 | 9,000 | 9,000 | 0 |
| 利息収入 | 0 | 0 | 0 |
| 雑収入 | | | |
| 合計 | 9,000 | 9,000 | 0 |

(摘要) 3000円×3名

| (支出の部) | | | |
|--------|-------|-------|----|
| 科目 | 予算額 | 決算額 | 差異 |
| 事務費 | 0 | 0 | 0 |
| 事務手当 | | | |
| 通信費 | | | |
| 雑費 | | | |
| 事業費 | 0 | 0 | 0 |
| 広報費 | | | |
| 予備費 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 0 | 0 | 0 |
| 差引繰越予定 | 9,000 | 9,000 | 0 |

財産目録

| 科目 | 連携病院会計 | 計 |
|--------------|---------|---------|
| 資産の部 | | |
| 前期繰越額 | 99,036 | 99,036 |
| 当期繰入額 | 9,000 | 9,000 |
| 1. 流動資産 | 108,036 | 108,036 |
| 1) 現金 | 0 | 0 |
| 2) 普通預金 | 108,036 | 108,036 |
| 3) 利息 | 0 | 0 |
| 4) 未収入金 | 0 | 0 |
| 2. 固定資産 | 0 | 0 |
| 資産合計 | 108,036 | 108,036 |
| 負債の部 | | |
| 1. 流動負債 | 0 | 0 |
| 1) 未払金 | 0 | 0 |
| 2) 預り金 | 0 | 0 |
| 2. 固定負債 | 0 | 0 |
| 1) 連携病院事業積立金 | 0 | 0 |
| 負債合計 | 0 | 0 |
| 差引正味財産合計 | 108,036 | 108,036 |



2019年代議員会懇親会を開催
代議員会終了後、母校「むらさき」に於いて懇親会が行われた。多くの代議員が参加し、また代議員会開催のアルバイトの学生も参加した。その学生たちも準会員であり、大先輩たちと交じり、和やかな雰囲気でお話を楽しんでいたが、終了時間となり、惜しまれながらも解散となった。



同窓会関係情報

2019年度 新役員が決定

2019年度の各担当理事が任命された。

- 会長：中條 眞二郎 (V12)
- 副会長：獣医佐佐部 隆 (V10)
- 看護湯本 典夫 (V19)
- 動物小磯 孝 (Z28)
- 食品山内 直文 (F19)
- 事務局長：吉田 孝治 (V16)
- 事務次長：川角 浩 (V34)
- 総務：荻野 勇 (V13)
- 金原 元伸 (V22)
- 経理：寺田 厚 (V13)
- 畠山 仁 (F47)
- 支部強化：小暮 一雄 (V21)
- 藤原 伸作 (Z27)
- 学生支援：小山 秀一 (V28)
- 五十嵐 綾乃 (N57)
- 学術編集：柚原 亜紀 (N58)
- 対馬 宣道 (Z25)
- 左向 敏紀 (V28)
- 森田 達志 (V39)

県議会議員再選

千葉 伝氏 (獣医21) 岩田県議会議員7選。

事務局だより

受付業務・祝祭日を除く月・火・木・金曜日の午前11時から午後4時となっております。事務局の勤務は一人体制で、業務で外出する場合がありますのでご了承ください。

【注意】

2020年度代議員会開催予告

オリンピック開催などの事情により表題の件は2020年6月27日(土)に変更となります。詳細については、各支部長あてに連絡いたします。

住所変更の届け出

住所変更は本人届け出を原則としております。会報が宛先不明で返却された場合、住所不明扱いになります。住所変更届け出用紙は同窓会ホームページから印刷してください。

支部総会へ同窓会本部からの派遣依頼について

派遣人選は依頼順に事務局で調整しております。支部から派遣希望者へ直接依頼した場合は同窓会からの経費が支給されません。

同窓会会費納入のお願い

本会の事業は会員の納入会費(年間3000円)によって運営されており、原則として支部一括納入となっておりますが、諸事情によって一括徴収が出来ない支部があります。一括納入支部の会員には会費払込取扱票を同封しておりますので支部からの連絡に従って

て納入願います。一括徴収が不可能な支部の会員には個人払込票を同封しております。郵便局から振込みをお願いします。払込取扱票には所属、氏名、住所をお忘れなく記入願います。個人払込取扱票が必要な方は同窓会事務局へ連絡願います。

母校附属動物病院との連携動物病院の申請

手続き窓口は同窓会事務局となっております。申請用紙、詳細については同窓会ホームページをご覧ください。

会報への投稿依頼

同期会、研究室同窓会、クラブOB、OG会同窓会などの開催報告を投稿して下さい。300字程度で写真は電子版(JPEG)でお願いします。ホームページと会報に掲載しますが、紙面の制約で編集会議にて採用を決定します。

次に該当する会員は事務局までご連絡を

国会議員、市長村長、市議会等へ選出・再選された方。叙勲を授賞された方。他大学で博士号を授与された方。逝去された会員等。

第四回医獣祭に同窓会ブースを開設

医獣祭期間の11月2・3日に同窓会会議室に同窓会ブースを開設しました。

お詫び

2019年に発行された同窓会名簿に誤った届出によりV23期の宇賀神氏に誤記載がありました。ここにお詫び申し上げ訂正させていただきます。

V23期 宇賀神 源一氏 栃木県那須塩原市。

山梨県支部総会

藤巻 勤

2019年8月1日に甲府市内の小島精肉店で2019年度支部総会及び懇親会を開催しました。

当日は本部から新井先生に御臨席いただき、大学の近況、今後の課題など情報提供いただき、盛大に開催することができました。誠にありがとうございました。



京都府支部総会

人見 誠

2019年8月31日、母校から左向敏紀先生をお迎えし、京都タワーホテルにおいて支部総会が開催されました。

総会前に左向先生に「犬と猫の甲状腺疾患を極める」というテーマでセミナーをしていただき、2時間ほど勉強ができました。



17時15分からの支部総会では、吉田修支部長の挨拶の後、芝常照先生から7月20日に開催された母校代議員会の報告と問題提起、左向敏紀先生からスライドを用いて母校の現状や同窓会の状況についての説明がありました。総会は会費納入者42名中、参加者11名、委任状14名で会員の過半数を超えておりましたので成立。議案として、事務局の人見誠から平成30年度事業報告および会計報告、令和元年度事業計画について説明があり、承認されました。次に今後の同窓会活動の検討事項について話し合いました。代議員選出・新規加入者・会則変更・近畿地区合同同窓会開催について様々な意見が出て、より良い方向に発展して行けるよう検討されました。

茨城県支部総会

笠井 潔

2019年9月7日(土) 午後4時から
笠間市割烹須藤魚店にて令和元年度茨城県
支部総会及び懇親会を実施いたしました。
日本獣医生命科学大学同窓会 中條真二郎
会長にも出席を頂き盛大に開催することがで
きました。御協力ありがとうございました。



岩手県支部総会

吉川 健

日本獣医生命科学大学同窓会岩手県支部で
は、2019年11月16日に盛岡市繁に於いて
支部総会を開催しました。
役員改選と支部組織の強化策、獣医学科以
外の同窓生の参集方法について話し合いまし
た。



獣医学科23期同窓会の開催

山本 憲次

2019年10月6日に第2
回目の同期会を、日本三名泉、
日本三古泉である有馬温泉の
有馬御苑において、総勢33名
の参加により盛大に開催しま
した。

中には卒業して44年振りに
会った仲間もいて、初めは誰
だか分からなかったものの、
しばらくすると皆が学生時代
に戻り、懐かしかった思い出
を肴に楽しい時を過ごしまし
た。

懇親会では、全員による近
況報告や元合唱団赤とんぼの
メンバーと全員が大学学歌を
斉唱する等、宴は盛り上がり
ました。次回の幹事は東京在
住の人にお願ひし、早い人が
古希となる2年後に全員で再
開の約束をして、会を終了し
ました。終了後も、各部屋で
いつまでも楽しい会話は続き
ました。参加できなかった人
も、次回は是非参加を待つて
います。
23期の仲間は最高デース。



大学9期同期会 報告

西尾 静子

1961年3月、日本獣医畜産大学を卒業した私たちは、2019年9月をもって9期同期会の閉会を決めました。

このたび最終回は本年9月17日に山梨県甲州市で開催し19名(ご夫妻4組)が集いました。

ふりかえれば、終戦の混乱を引きずった中ながらも、希望を持って入学し、卒業後は名

実ともに日本の復興再建に尽力した年代です。このため、当初は同期会に集まる

余裕もなく欠席者の多い時代もありましたが、定期的に全国各地で同期会が開催

され、旧交を温めて盛り上がりました。

北海道は函館など複数回、奥入瀬、弘前、秋田、

伊勢、大阪、箱根、静岡、山梨、などなど思い出はつきません。東京での開催時には、何十年かぶりに母校

を訪問、現名誉学長・池本卯典先生から大学の発展報告をうかがいました。

先日、山梨の会の帰途に、中央線の車窓から「武蔵境駅」を通り途中に母校が見えて「あっ、日猷だー立派になつたなー」の声が上が

り、校舎が涙で滲みました。私たちは寄る年波で公式

な同期会は閉幕になりましたが、今後も可能



な同期会は閉幕になりましたが、今後も可能ながきり有志で声かけをして毎年集まることにしました。皆80歳を越しましたので今後は健康管理が最優先です。

長年にわたり同期会の幹事を引き受けて各地の趣向を凝らした会を開催して下さった皆様に心から感謝申し上げます。

末筆となりましたが、今後の大学および同窓会の益々の発展を祈念申し上げます。

五四期会(畜産31期) 報告

高梨 庸一

入学が昭和54年4月なので「五四期会」(ごしきかい)と命名しております。

入学年度が同じでも卒業年度が異なる者もこの会には参加しております。

そのため五四期会と呼んでおります。来賓には、担任の紺野先生に

毎回出席戴いておりますが、今回は都合により欠席でした。

2019年になり、一浪の皆さんが還暦を迎えるに当たり「還暦五四期会」と称し、曳舟の「絆」に於いて浅田先生をお迎えし25名の参加で行いました。

2019年9月15日12時 開会の後、物故者への黙禱、紺野先生の手紙紹介、浅田先生の乾杯から参加者の近況報告、参加が叶わなかった人の近況写真報告、岐阜県豚コレラの報道等4時間では短過ぎました。中締め前に絆のマスターによる生演奏で、学歌を斉唱し2

次会、3次会、4次会はそれぞれの少人数で開催となりました。



神戸、山形からも日帰りで参加してくれました。次回の幹事も決まり早速計画に入るとか、11月の学祭が意見交換会とのラインが入りました。

母校近況

教員人事

庶務課

○新任

(2019年10月1日付)

助手

阿江 理恵子
(付属動物医療センター)

○異動

(2019年11月1日付)

助教

関 瀬利
(獣医保健看護学臨床部門)

○退職

(2019年7月31日付)

助教

樺山 実幸
(獣医解剖学)

2020年度 日本獣医生命科学大学入学試験の抜粋案内

入試課

一般入学試験は全区分全学科で併願が可能です。出願期日の間近な試験日もあります。
詳細については入試課〔電話：0422-31-4151(代)〕まで問い合わせてください。

| 入試種別 | 学部 | 学科 | 試験日 | 試験会場 | 選抜方法等 | Web出願期間 |
|----------------------|---------|----------------|---|----------------------|---|-----------------------|
| (学士) 特別選抜 | 獣医学部 | 獣医学科 | 【一次試験】 2月6日(木) 【二次試験】 ※一次合格者のみ 2月22日(土) | 本学 | 書類審査…「履歴書」・「志望理由書」・「成績証明書」等 面接…目的意識等についての口頭試問 小論文…400字以内/60分 学力試験(記述試験) [英語]・[生命科学関連科目]…2科目/90分 ※一次試験(小論文・学力試験)合格者に二次試験(面接)を実施します。 | 1月4日(土)~ 1月23日(木) |
| センター試験利用(第1回) | 獣医学部 | 獣医学科 | 1月18日(土) 1月19日(日) | センター試験 指定各会場 | 国語(近代以降の文章のみ利用) 数学(数学I・A) 理科(生物)または(化学) 外国語(英語(筆記)) | 1月4日(土)~ 1月17日(金) |
| | 獣医学部 | 獣医保健看護学科 | | | 数学(数学I・A) 理科(生物)または(化学) 外国語(英語(筆記)) | |
| | 応用生命科学部 | 動物科学科 食品科学科 | | | 国語(近代以降の文章のみ利用)または数学(数学I・A) 理科(生物)または(化学) 外国語(英語(筆記)) | |
| センター試験利用(第2回) | 応用生命科学部 | 動物科学科 食品科学科 | 1月18日(土) 1月19日(日) | センター試験 指定各会場 | 国語(近代以降の文章のみ利用)または数学(数学I・A) 理科(生物)または(化学) 外国語(英語(筆記)) | 2月14日(金)~ 2月23日(日) |
| [独自試験方式] 一般(第1回) | 獣医学部 | 獣医学科 | 2月5日(水) | 本学 大阪 福岡 仙台 | 英語(コミュニケーション英I・II・III・英語表現I)必須 数学(数学I・II・A・B)必須 生物(生物基礎・生物)化学(化学基礎・化学)から1科目選択 | 1月4日(土)~ 1月23日(木) |
| | 獣医学部 | 獣医保健看護学科 | | | 英語(コミュニケーション英I・II・III・英語表現I)必須 数学(数学I・II・A・B)生物(生物基礎・生物) 化学(化学基礎・化学)から1科目選択 | |
| | 応用生命科学部 | 動物科学科 食品科学科 | | | 英語(コミュニケーション英I・II・III・英語表現I) 数学(数学I・II・A・B)生物(生物基礎・生物) 化学(化学基礎・化学)から2科目選択 | |
| [センター試験併用方式] 一般(第2回) | 獣医学部 | 獣医学科 | 2月6日(木) ※1月18日(土)・1月19日(日)のセンター試験を必ず受験してください | 本学 大阪 福岡 仙台 | センター試験英語(筆記)必須 センター試験数学(数学I・A、数学II・B)必須 生物(生物基礎・生物)化学(化学基礎・化学)から1科目選択 | 1月4日(土)~ 1月17日(金) |
| | 獣医学部 | 獣医保健看護学科 | | | センター試験英語(筆記)必須 | |
| | 応用生命科学部 | 動物科学科 食品科学科 | | | センター試験国語(近代以降の文章のみ) または センター試験数学(数学I・A、数学II・B)どちらか必須 生物(生物基礎・生物)化学(化学基礎・化学)から1科目選択 | |
| [独自試験方式] 一般(第3回) | 獣医学部 | 獣医学科 | 3月2日(月) | 本学 | 英語(コミュニケーション英I・II・III・英語表現I)必須 数学(数学I・II・A・B)必須 生物(生物基礎・生物)化学(化学基礎・化学)から1科目選択 | 2月14日(金)~ 2月23日(日) |
| | 獣医学部 | 獣医保健看護学科 | | | 英語(コミュニケーション英I・II・III・英語表現I)必須 数学(数学I・II・A・B)生物(生物基礎・生物) 化学(化学基礎・化学)から1科目選択 | |
| | 応用生命科学部 | 動物科学科 食品科学科 | | | 英語(コミュニケーション英I・II・III・英語表現I) 数学(数学I・II・A・B)生物(生物基礎・生物) 化学(化学基礎・化学)から2科目選択 | |

同窓会協賛

「学内OBOG訪問会」

開催報告

学生支援課 課長 清水謙一



2019年7月5日(金)17時より学食「むらさき」で、同窓会協賛により各界で活躍されている若手OB・OG8人をお招きし、学内でのOBOG訪問を開催しました。

開会にあたり、中條同窓会長のご挨拶を頂き大学の歴史を感じることができました。

今回ご協力頂いた先輩たちは、獣医学科から農林水産省・(株)エーザイ、獣医保健看護学科からいなば食品(株)・フジタ製菓(株)・(一財)日本食品分析センター、動物科学科から(株)プリマム・森永酪農販売(株)、食品科学科から



中村屋(株)の方々です。

参加した就活生たちは社会で活躍されている先輩たちから多くの収穫を得られ、就活へのモチベーションを高められたことと思います。

引き続き同窓会との連携を深めつつキャリア支援を推進してゆく所存です。

2019年体育祭が開催された

学生支援課

2019年10月23日(水)武蔵野陸上競技場において、令和元年度体育祭が開催された。日本医科大学1年生も交えた合同開催の形式も今回で3回目となり、部活や研究室を中心とした約350名の学生がチームに分かれて競い合った。

近年まれにみる晴天の中、恒例の綱引きや障害物競争、玉入れ等の各種競技が行われた。ファイナレのリレー決勝では熱い戦いが繰り広げられ、大歓声の中、両大学の親交をさらに深めた一日となった。



2019年

第4回医獣祭が開催された

学生支援課

2019年11月1日(金)～11月3日(日)に本学において、第4回医獣祭が開催された。



日本医科大学との合同開催も4回目となった今回のテーマは「梅花の宴」。新元号となった「令和」のもととなった万葉集の歌にある序文から引用したとのこと。元号が変わって初めての医獣祭ということで、日本医科大学とも連携をより強固にし、力を合わせて「新しい時代」の「新しい医獣祭」を作っていくという思いがこのテーマに込められている。

本年は一時雨に見舞われた時間がありながらも、3日間合計7,240名の来場者となった。



お笑いタレントを招いてのお笑いライブ、音楽系団体の合唱や演奏、ダンス系サークルのステージ、研究室やクラブ・サークルの展示発表、毎年恒例のペットショー等、非常に盛り上がり有意義な3日間が終了した。



2019年度 動物慰霊祭が挙行された

事務局事務部庶務課

10月30日(水)12時30分より、第一校舎中庭の「仁畜之碑」前で、2019年度動物慰霊祭が無宗教献花方式にてしめやかに執り行われた。

参加者全員で動物の霊を弔うための黙祷が行われた後、清水一政学長から、「あらためて実験動物の役割とその貢献を認識し、犠牲となった多くの動物達に心から感謝の意を捧げたい」との追悼のこゝとばが述べられた。

続いて、学生を代表して伊藤由莉奈学友会会長から、「私達は動物と接するに当たり常に学生として学ぶ目的を明確に持ち続けるとともに、真摯な態度と感謝の気持ちを忘れず、善良な獣医師・動物



看護師・生命科学者として育つことで動物の慰霊と報恩にかえさせていただきます」との哀悼の意が述べられた。

最後に、清水学長、田崎獣医生命科学部研究科長、小山獣医学部長、藤澤応用生命科学部部長、藤田動物医療センター院長、吉村牧場場長、委員長、伊藤学友会会長の指名献花、教職員・学生等が学術の発展のため、教育・研究に貢献した数多くの動物に感謝の念を捧げ、付属医療センターで治療することのなかった動物の御霊とともに、この1年間に亡くなったすべての動物に対して哀悼の意を捧げた。

新年のご挨拶

日本獣医生命科学大学

学長 清水一政



あけましておめでとうございます。同窓会の皆様には健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

日本獣医生命科学大学は1881年の開学以来、時代の要請に呼応して校地の移転や校名変更、新学部の設置、カリキュラムの改正、老朽化した校舎の建替え、IT設備の導入、入試制度の改革等を断行してきましたが、我が国の教育研究を取り巻く諸情勢の変化は目覚ましく、少子高齢化、知識基盤社会・グローバル化の進展、大学行政の規制緩和、そして国家戦略特区による獣医学部の新設などにより、一層厳しくなるものと予想されます。このような大学を取り巻く状況の中で私たちに教育研究の質の保証・向上を推進するとともに、大学改革を不断の取組みとするための設計図として「中長期計画」を策定することといたしました。

1. ニチジュウミライ図

2016—2031

日本獣医生命科学大学の未来の設計図としてニチジュウミライ図と名付けた中長期計画は2031年に迎える創立150周年を見据え、大学の基幹となる「建学の精神」「理念」「使命・目的」を再確認し、本学の責務を社会に宣誓する「ミッション・ステートメント」や15年後の本学の将来像「ビジョン」とそれを実現するための重点施策及び中期事業計画「アクションプラン」から構成されるものです。こうした取組みを2016年12月より開始し、多くの教職員が参加するプロジェクト形式にて作業を進めました。また、ミッション・ステートメントの実現に向けたプロジェクトマークの策定においては教職員のみならず学生にも公募範囲を広げ、最終的に教員と学生の合同で応募のあったマークが選定されるなど、時に学生の参加もプロジェクトとして行い、まさに教職学教員・職員・学生による全学的な取組みとして進めました。その結果、1年後の2018年1月に「日本獣医生命科学大学 中長期計画(第1期)」が完成し、改めてここに中長期計画の概要を列挙します。

【中長期計画の概要】

○ミッション・ステートメント

(社会への宣誓)

Connect with the Future

「動物と人をつなぎ、都市と地方をつなぎ、獣医・生命科学の情報発信拠点」

○ビジョン

(15年後の将来像)

- (1) 「教育」でつなぐミライ
 - ① 「学生満足度の高い大学」につながる教育を実施します
 - ② 武蔵野から世界へ、獣医生命科学のトップリーダーを育成します
 - ③ 都市型大学としての特色ある教育システムを創出します
- (2) 「研究」でつなぐミライ
 - ① 世界をリードする「食・環境・生命(One Health)」研究を行います
 - ② オリジナルの獣医畜産研究を発信します
 - ③ 研究成果の評価システムを確立します
 - ④ 効率的に研究ができる大学にします
- (3) 「学生支援」でつなぐミライ
 - ① 学修環境と面倒見の良い大学にします
 - ② アットホームな環境で学生の未来を支援できる輪を持つ大学にします
- (4) 「管理運営」でつなぐミライ
 - ① 大学関係者が愛と誇りを持てる大学にします
- (5) 「社会貢献・産官学連携」でつなぐミライ
 - ② 個が評価される喜びに満ちた大学にします
 - ③ 社会のニーズに応える多様な人材を育成する大学にします
 - ④ 健康に生き生きと学べる大学にします
 - ⑤ 財政基盤を確立し、強いコンプライアンスと危機管理体制を構築します

- ① 動物に関する多様な社会貢献活動を推進します
- ② ニチジュウブランドの確立と情報発信を通じた「誰もが来てみたくなる大学」にします
- ③ 社会・企業とより深くつながるユニークな教育研究を推進します
- ④ 社会貢献・産官学連携に取り組める体制をつくりまします

○プロジェクトマーク

- (6) 「動物医療センター」でつなぐミライ
 - ① 動物医療センターの臨床教育を充実させます
 - ② 動物医療センターの動物医療体制を充実させ、財政に貢献します
 - ③ 動物医療センターの臨床研究を充実させます



この中長期計画は策定を開始した2016年を1年目として創立150周年を迎える2031年までの15年間の計画であり、5年を1期として3期に分けて実行されます。そして1期から2期に移行する2020年10月から2021年9月の間には中期計画の見直しを改めて実施いたします。中長期計画の見直しにおいては同窓生の皆様にもご助言いた

くこともあろうかと思しますので引き続き、ご支援、ご協力のほど、お願い申し上げます。

2. ニチジュウキャンパス マスタープラン

大学キャンパスは大学の顔であり、教育研究活動の基盤であるとともに、学生にとつては学習の場、卒業生にとつては母校として思い出の場となります。また、これから大学で学ぼうとする人や地域に暮らす人々にとつても魅力的であることが必要となります。そのため中長期的な視点にたった施設整備を進めるための計画を示し、キャンパスの更なる活用を推進するため、日本獣医生命科学大学施設設備計画書「ニチジュウキャンパスマスタープラン」の策定を検討し、2019年3月に完成しました。

「ミツシヨウ・ステートメント」にて定めた「つなぐ」拠点として、動物と人、都市と地方をつなぐキャンパスを整備することを基本方針として、1号棟、2号棟・3号棟、第2校舎21号棟の整備計画の概要を列挙します。

【ニチジュウキャンパス マスタープラン】

(1) 1号棟

地域と社会をつなぐ拠点
歴史的建造物として次世代に継承するため長寿命化事業として耐震診断・補強工事を実施し、地域連携や産学連携を包括した施設として活用する。特に武蔵境や武蔵野

市のランドマークとして、動物と人、都市と地方をつなぐキャンパスの象徴的な建造物として、保存・活用を検討しています。

(2) 2号棟・3号棟

安心安全な学生や教職員をつなぐ拠点
2棟ともに解体し、学生部室の再移転を含む学生総合支援施設を中心とした新しい建物の建築を検討しています。

(3) 21号棟(第二校舎)

行政機関や地域住民も含んだ人と動物をつなぐ拠点
1号棟と同様に長寿命化事業として耐震診断・耐震補強工事を行い、獣医学教育評価の受審を見据えた産業動物関連施設等の整備を検討しています。

これら再開発プランについては、ニチジュウキャンパスマスタープラン検討委員会を設置し、21号棟及び新棟の用途について検討を開始する運びになっています。
最後に年初にあたり、今年が同窓会のさらなる躍進の年でありますように祈念し、引き続き同窓の皆様には変わらぬご支援、ご助言をお願いするとともに、益々のご活躍をお祈りいたします。

注) 各棟は次のように使用されてきました。
1号棟…現在正面玄関、同窓会事務局として使用中
2号棟…生理、微生物などの教室、後に学生会館
3号棟…畜産学科教室、後に看護学科教室

乳業会の同窓生による「ミルク会」設立 — 会員募集 —

藤田 学 (畜産食品工学科28期)

日獣ミルク会を設立することになりました。
「第一回設立記念集会を開催いたします。
該当する方はふるってご参加ください。
(入会資格は、左記・趣意書をご覧ください)

日時 2020年2月29日(土) 15時~17時

終了後交流会を行います。
(詳細は当日ご案内いたします)

会場 本学B513教室にて
申し込み方法 メールでお願いします。

アドレス nvilmilk@yahoo.co.jp
※氏名、卒業年度、所属、簡単なプロフィールをお知らせください。

日本獣医生命科学大学ミルク会(日獣ミルク会)設立趣意書

標記の会(乳業界同窓会)を設立することといたしましたので、その概要を記します。

記

1. 目的
母校は建学以来応用生命科学の専門職及び研究者を育成しており、様々な業界へ多くの人材を輩出してきました。そなかで、食品業界、特に食生活に重要な畜産食品である乳・乳製品を扱う業界においても、母校の卒業生が多数活躍しております。
本会は、飲用乳・粉乳・はっ酵乳・バター・チーズ・アイスクリームなど、乳業のさまざまな分野で活躍する同窓生の交流を図るとともに、母校および日本乳業界の発展に寄与していくことを目的として設立するものです。
 2. 入会資格
(1) 母校・母校大学院の卒業生であり、乳・乳製品に関係する業務に携わる方、またはその経験を持つ方(乳業メーカー、乳業関連団体、乳製品工房、乳製品輸入商社など)
(2) 母校・母校大学院の卒業生または教職員・研究生として在籍した方であつて、本会の趣旨に賛同してくださる方
 3. 本会の活動について
本会は、次の活動を行ってまいります。
(1) 会員交流会の開催
会員相互の交流・情報交換を目的として開催します。
(2) 日獣ミルクシンポジウムの開催
会員の乳業界における経験を発表し、業界の情報・実情・知識・喜び・苦労などを相互に語る催しとします。
母校の学生・教職員にも参加を募り、会員のみならず母校の研究及び学生の就職の参考となることを期待します。
 4. 設立・開催の案内について
本会の設立ならびに活動について、日本獣医生命科学大学同窓会の会報・会誌・ホームページでの告知・案内をお願いしたいと考えています。
- 以上各項をご承認の上、設立・開催にご協力いただきたく、お願い申し上げます。

以上

| 2019年7月吉日 | | | |
|-----------|-------------|---------|------------------------|
| 発起人代表 | 藤田 学 (28期) | 畜産食品工学科 | 中沢乳業株式会社) |
| 発起人 | 藤林 秀規 (23期) | 獣医学科 | 元・東京飲用牛乳協会) |
| 発起人 | 大木 高明 (33期) | 畜産食品工学科 | 全国酪農協同組合連合会) |
| 発起人 | 雪 孝光 (33期) | 経営畜産学科 | 有限会社ヤスダヨーグルト) |
| 発起人 | 寺澤 慎一 (35期) | 畜産食品工学科 | B-R サーティワンアイスクリーム株式会社) |
| 発起人 | 三原 茂 (36期) | 畜産食品工学科 | チェスコ株式会社) |
| 発起人 | 太田 智章 (38期) | 畜産食品工学科 | 公益財団法人日本乳業技術協会) |